

平成 27 年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業
新規課題概要資料作成要領(委託・補助事業共通)

- * パワーポイントのフォーマット「【概要資料】平成 27 年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業(委託・補助事業共通).ppt」をダウンロードして、下記の構成にて作成してください。
- * 応募書類を提出した後、概要資料については 一式(6枚以内)を平成 27 年 2 月 10 日(火) 17 時までに電子データにて提出してください。
- * なお、委託と補助を併せて応募いただく場合、このヒアリング用概要資料については 1 件にまとめて提出ください。

< 構成 >

- 概要資料その 1 (技術開発概要)【1 枚(別紙参照)】
- 概要資料その 2 (技術開発実施計画)【1 枚(別紙参照)】
- 概要資料その 3 (その他)【1 枚(別紙参照)】
- 平成 27 年度の予定【1 ~ 2 枚程度】
- 参考資料(図表・写真等)【1 ~ 3 枚以内】

< 注意事項 >

表紙不要

~ については別紙及びフォーマットを参照にして作成してください。

記載方法等ご不明な点等ございましたらお問合せ願います。

概要資料作成要領

- ・ サンプルの構成（ページ構成、枠取りなど）を崩さないにしてください。
- ・ 文字ポイント数は 10 ポイント以上（図表中の文字は任意の大きさとする。）
- ・ サンプルを参考に箇条書きや図表を用いて簡潔に整理してください。
- ・ CO₂ 削減量の試算に当たっては、地球温暖化対策地域推進計画策定ガイドライン（URL: http://www.env.go.jp/earth/ondanka/suishin_g/index.html）、地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック 初版（平成 24 年 7 月環境省 地球局）（URL: http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local.html）などを参考にしてください。

(1) 事業概要

事業概要

技術開発の概要及び目的について、平易な表現で、一読して分かるよう記載してください。（200 文字程度）

また、該当する重点課題についても記載してください。（例： - 1）

重点課題に該当しない場合には、提案する技術開発が本事業の対象である理由を別途記載してください。

CO₂ 削減効果

2020 年及び 2025 年時点で期待される CO₂ 削減効果について、具体的な目標導入量、シナリオに基づき記載してください。（可能なら 2030 年時点も記載）

下図の試算方法パターンを参照しパワーポイントには「B-a, -」のように、試算方法パターンを記載してください。（どの類型にも当てはまらない場合は、「その他」とし、方法の概要を記載してください。）

統計データを使用した場合は、出典を明記してください。

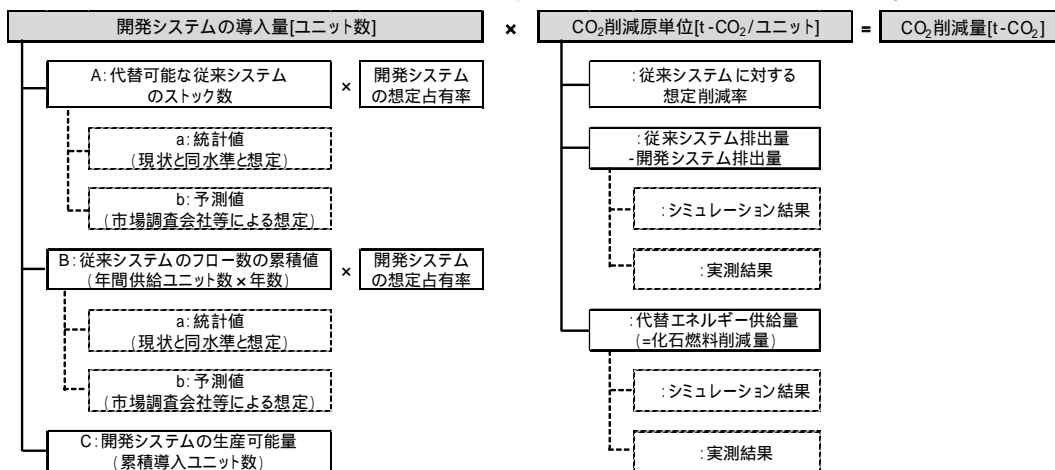


図 CO₂ 削減量の試算方法の類型パターン

システム構成

技術開発を行う装置やシステム全体のシステムフロー図や実証試験を行う全体フレーム図などを記載してください。

技術開発内容に応じて、導入技術や、エネルギーフロー・マテリアルフローが分かるよう作成してください。

核となる技術、PRポイントを明確にしてください。

(2) 技術開発実施計画

実施体制

事業実施体制について、各事業実施者が要素技術及び分担業務を、関連した分野の知見・過去の業績とともに簡潔に記載してください。

図示いただく範囲は共同実施者までで結構です。

実施スケジュール

事業実施スケジュール及び事業費について要素技術/分担業務ごとに記載してください。

目標設定・達成可能性

本技術開発事業で開発する設備等の最終的な目標となるスペック等、及びそこに至るまでの開発リスク等の課題について具体的に記載してください。

内容に応じて、開発規模・仕様、性能(従来品との比較、優位性)、コスト(従来品との比較、差額)、単純回収年(イニシャルコスト差額÷年間ランニングコスト差額)、各要素技術の開発目標、事業規模・スペック、運用コスト・事業収益などについて記載してください。

事業化・普及の見込み

本技術開発事業による事業化・普及の見込み、及び普及に向けた障害・課題について記載してください。

普及のためにインフラ等が必要となる場合は、それらの導入コスト等についても記載してください。

(3) その他

本事業を実施する上で開発技術の展開、情報発信の実績、事業の安全性等、PRしたいことを、適宜図表等を用いながら記載してください。